

三笠市議会政務活動費実績報告書

令和 7 年 10 月 27 日

三笠市議会議長 武田 悌一 様

会派名

代表者名 島山 宰

三笠市議会政務活動費条例第10条の規定により、次のとおり政務活動費に係る支出の実績を報告します。

記

1 交付決定額 50,400 円

2 支出額

項 目	金 額	摘 要
調 査 研 究 費	円	
研 修 費	90,000 円	研修費負担金
会 議 費	円	
広 報 費	円	
広 聴 費	円	
要請・陳情活動費	円	
資 料 作 成 費	円	
資 料 購 入 費	円	
合 計	90,000 円	

3 添付書類 領収書、領収明細書等の支出証拠書類

- 備考 1 摘要欄には、主な支出の内訳を記載してください。
2 会派に所属していない議員にあっては、「代表者名」とあるのは「議員名」と読み替えて記載し、「会派名」の欄の記入は、必要ありません。

政務活動費領収書等貼付用紙

支出項目

研究

費

金

額

90,000 円

領収証

2025 年 1 月 29 日

畠山幸

様

★

¥60,000

但 人口問題と予算審議特別セミナー

資料・動画データ代として

上記正に領収いたしました



地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田1-2-2

大阪駅前第2ビル2階5-6号室

TEL 050-6868-9678



領収証

2025 年 2 月 20 日

畠山幸

様

★

¥30,000

但 2/20 14時～ 交通空白と地域公共交通の役割②

2/21 10時～ ライドシェアの基礎と課題

研修会受講代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田1-2-2

大阪駅前第2ビル2階5-6号室

TEL 050-6868-9678



予算審議直前

人口問題と予算審議特別セミナー

2025 1.20(月) in 東京 / 1.29(水) in 京都

RESASを使った人口関連質問①

10:00 - 12:30

- ・人口の現状をRESASで把握しよう
- ・将来人口の確認の仕方
- ・男女別年齢別の転出入のエビデンス
- ・自治体の人口ビジョンからの質疑例

RESASを使った人口関連質問②

14:00 - 16:30

- ・自治体の経済循環の把握
- ・自分の街の産業構造の確認
- ・観光や人の流れと関係人口
- ・地方創生、総合戦略の関係性

講師

元・廿日市市副市長

川本 達志

かわもと たつし



2025 1.21(火) in 東京 / 1.30(木) in 京都

予算審議特別研修①

10:00 - 12:30

- ・令和7年度の予算審議で聞くべきこと
- ・地方財政の仕組みの基礎
- ・予算書を何回みてもわからない理由
- ・あなたの街の決算カードで現状把握

予算審議特別研修②

14:00 - 16:30

- ・職員が聞かれたくないポイント
- ・決算の指摘を予算に活かす
- ・数字を聞いたら成果を聞こう～効果的な質疑の仕方～
- ・財政は比較して見えてくる

1956年広島県生まれ。九州大学法学部卒。広島県庁において、公務員労務、基礎自治体の行財政指導、契約法務、県財政の健全化計画の策定などに従事。2005年4月に広島県廿日市市に移り、分権政策部長を経て2008年1月副市長就任。市の行政経営システム改革、中期財政運営方針の策定、廿日市市協働によるまちづくり基本条例策定などにあたる。副市長在職中に広島県立大学大学院修了。2011年12月退職。2012年3月から株式会社野村総合研究所 上級コンサルタント。2014年4月に独立。著書に「地方議員のための役所を動かす質問のしかた」(2017.7学陽書房)

『地域の足』が無くなる？ 交通空白解消セミナー

講師 **井原 雄人**
いはら ゆうと

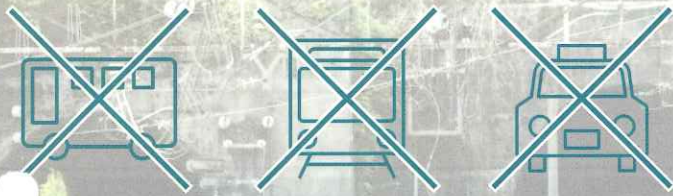
早稲田大学 スマート社会技術融合研究機構 研究院客員准教授
合同会社ビジュアライト 共同代表
早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科満期退学。
博士(学術・早稲田大学)

【紹介】
大学における研究成果を実際の社会で活用することを目的に、電動バスや燃料電池車両の開発からそれらを活用した地域公共交通の計画策定や地域が主体となったコミュニティ交通導入を実施。



～地域からバス、電車、タクシーが無くなる？今地方議員が取り組むべき課題～

東京
開催



2025
1/16^木 2/20^木 3/26^水

交通空白と地域公共交通の役割①
10:00～12:30

- ・用語の定義で役所に騙されるな
- ・人口減少と高齢化を数値で確認
- ・地域公共交通の定義と範囲のおさらい
- ・地域公共交通の役割と課題
- ・人口減少時代のまちづくりと交通の関係とは

交通空白と地域公共交通の役割②
14:00～16:30

- ・地域交通法の改正の歴史と意図
- ・競争どころではなくなった時代
- ・地域公共交通計画の突っ込みどころ
- ・自治体の役割の再確認
- ・議員に取り上げてほしい交通課題

2025
1/17^金 2/21^金 3/27^木

ライドシェアの基礎と課題
10:00～12:30

- ・政府の交通空白解消本部の議論をおさえる
- ・日本版ライドシェアの全国展開？
- ・公共ライドシェア、日本版ライドシェア、乗合タクシー
コミュニティバス、デマンド運行の定義と役割
- ・地域の足対策と観光の足対策

交通崩壊の解決策と各地の事例
14:00～16:30

- ・交通崩壊は既に始まっている
- ・ローカル鉄道の再構築に関する仕組みと支援例
- ・交通税導入の検討と財源策
- ・自動運転ロードマップ
- ・DXGX新しいモビリティサービス

令和7年2月15日

議員研修報告書

議員氏名 畠山 宰

下記の通り政務活動として講演に参加しましたので報告します

記

- 実施日 令和7年1月29日（水）

- 開催場所 京都 JA ビル
 京都市南区東九条西山王町1

- 講演会名 RESAS を使った人口関連質問①・②
 午前 10:00~12:30
 午後 14:00~16:30

- 講師 元・廿日市市副市長
 川本 達志 師

- 講演内容
 地域経済分析システムを用いての分析の仕方や質問への活かし方学んだ

- 所見
 このままいけば日本国の総人口は年間100万人のペースで減っていくこととなり、76年後の2100年には6300万人に半減することとなる。そして高齢化率が40%の国となる。少子化の流れには歯止めがかかっておらず世代を超えて取り組まなくてはならない喫緊の課題である。この急激かつ止めどなく減少し続ける状態を脱し、現在よりも小さい人口規模であっても多様性に富んだ成長力のある社会を構築していく必要がある。そのために地域経済分析システムを用い、地域の人口動態・構成の特徴から人口ビジョンを構築し、また、産業構造を分析する事で、その地元で何が強みであるのか、どこに弱点があるのかを明確にし、データから打開策を見つけていく事が出来るよう努めたい。

令和7年2月10日

議員研修報告書

議員氏名 畠山 宰

下記の通り政務活動として講演に参加しましたので報告します

記

- 実施日 令和7年1月30日（木）
- 開催場所 京都 JA ビル
京都市南区東九条西山王町1
- 講演会名 予算審議特別研修①・②
午前 10:00~12:30
午後 14:00~16:30
- 講師 元・廿日市市副市長
川本 達志 師
- 講演内容
地方財政の仕組みから始まり令和7年度の予算審議において、地方財政対策を踏まえてどのような視点を持つべきか講義いただいた。
- 所見
地方全体の歳入として国が見込んだものを元に、歳出においても、地方財政対策のポイントごとに、自治体の予算措置がどのように措置されているのかよく吟味する事が必要である。また、予算審査は決算審査と連動させる事によって、自治体が直面している課題に対し、予算付けされたものがどのような成果・効果をあげているのか検証していく事が出来るよう、決算カードや財政状況資料集などを参考にしながら、類似団体とも比較して分析出来るようにしていきたい。

令和7年2月25日

議員研修報告書

議員氏名 畠山 宰

下記の通り政務活動として講演に参加しましたので報告します

記

- 実施日 令和7年2月20日（木）
- 開催場所 リファレンス西新宿大京ビル 2階
東京都新宿区西新宿7丁目21-3
- 講演会名 交通空白と地域公共交通の役割 14:00~16:30
- 講師 早稲田大学 スマート社会技術融合研究機構研究員客員准教授
井原 雄人 師

- 講演内容

- ・地域公共交通法の改正の歴史と意図
- ・競争どころではなくなった時代
- ・地域公共交通計画の突っ込みどころ
- ・自治体の役割の再確認
- ・議員に取り上げてほしい交通課題

- 所見

現状、我が街に限定の事態ではなく、公共交通は赤字路線が多いのが実態である。近隣自治体の路線バスも赤字路線で厳しい状態であったものがコロナ禍を経る事によりさらに公共交通の経営状況悪化に拍車がかかってしてしまった。その対策として法改正なども行われた。各地方自治体で公共交通会議が存在すると思うが、実際に利用者を含めた上で検討会を実施し、どういった交通体制を適応すべきであるのかを再構築することが必要になっている時代にあると思われる。

令和7年2月25日

議員研修報告書

議員氏名 畠山 宰

下記の通り政務活動として講演に参加しましたので報告します

記

- 実施日 令和7年2月21日（金）
- 開催場所 リファレンス西新宿大京ビル 2階
東京都新宿区西新宿7丁目21-3
- 講演会名 ライドシェアの基礎と課題 10:00~12:30
- 講師 早稲田大学 スマート社会技術融合研究機構研究員客員准教授
井原 雄人 師
- 講演内容
 - ・政府の交通空白解消本部の議論をおさえる
 - ・日本版ライドシェアの全国展開
 - ・公共ライドシェア、日本版ライドシェア、乗合いタクシー、コミュニティバス、
デマンド運行の定義と役割
 - ・地域の足対策と観光の足対策

● 所見

日本では、2024年4月1日から「自家用車活用事業（日本型ライドシェア）」がスタートし、また「自家用有償旅客運送（自治体ライドシェア）」という制度もあり、これはおもに過疎地や公共交通が不足している地域で実施されているが、開始されはしたもののまだ広く利用されている状況ではない。安全性をどう担保するかなど、運転手の確保といった課題はあるものの、日本版ライドシェアは環境負荷の低減出来る可能性、地域における交通課題を解決する有効な手段の一つであるかと思われるが、利用する人達が本当に快適な環境が保たれながら信頼がある上で進める事が出来るかどうかはそのエリアの地域性など十分に考慮していく必要性があると感じた。